

2025年度 シラバス

科目名	人文科学 2						
担当教員	小森 幸子						
実務経験	無 / (有) (公立小学校で教諭として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科2年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	1. 言葉で自己表現する（話す・書く）力を養成する。						
	2. 客観的に自己表現できる力を養成する。						
授業内容	第 1回	要約文の作り方と演習					スピーチと実習
	第 2回	〃					〃
	第 3回	〃					〃
	第 4回	面接でのマナーと対応					〃
	第 5回	意見文の書き方と演習					〃
	第 6回	〃					〃
	第 7回	〃					〃
	第 8回	〃					〃
	第 9回	〃					〃
	第10回	論説文について					〃
	第11回	〃					〃
	第12回	〃					〃
	第13回	記録文・報告文について					〃
	第14回	〃					〃
	第15回	〃					〃
使用教材	地方初級教養試験 過去問350（2025年度版）						
	最新最強の地方公務員問題 初級 ’ 26年版						
評価方法	定期テスト						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	青木	吉川

2025年度 シラバス

科 目 名	社会科学:						
担当教員	窪田 晴哉						
実務経験	無 / (有) (専修学校、個別サポート塾教諭として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科2年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	政治・経済・国際関係の基本的な仕組みを理解する。						
	身近な社会問題に関心を持ち、自分の考えを言えるようになる。						
授業内容	第 1回	国会・内閣					
	第 2回	裁判所・地方自治					
	第 3回	基本的人権総論					
	第 4回	基本的人権各論					
	第 5回	選挙制度・各国の政治制度					
	第 6回	民主主義の基本原理					
	第 7回	市場経済					
	第 8回	国民経済					
	第 9回	財政と金融					
	第10回	戦後政治史・経済史					
	第11回	国際政治					
	第12回	国際経済					
	第13回	時事問題					
	第14回	時事問題					
	第15回	時事問題					
使用教材	国家公務員 地方初級 オープンセサミシリーズ1 政治・経済・社会 東京アカデミー						
	地方初級教養試験 過去問350 実務教育出版						
	プリント						
評価方法	筆記テスト						

	教務主任	学科長	担任
			

2025年度 シラバス

科目名	一般知能 2						
担当教員	窪田 晴哉						
実務経験	無 / (有) (専修学校、個別サポート塾教諭として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科2年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	数的推理の問題を使って、考える力を身につける。						
授業内容	第 1回	方程式					
	第 2回	不等式					
	第 3回	比と割合					
	第 4回	濃度・仕事算・ニュートン算					
	第 5回	速度					
	第 6回	倍数と約数					
	第 7回	割り切れない数					
	第 8回	n進法・数列					
	第 9回	虫食い算・覆面算・魔方陣					
	第10回	場合の数					
	第11回	確率					
	第12回	平面図形					
	第13回	平面図形					
	第14回	空間図形					
	第15回	空間図形					
使用教材	よくわかる数的推理 田辺勉著 実務教育出版						
	地方初級教養試験 過去問350 実務教育出版						
	プリント						
評価方法	筆記テスト						

	教務主任	学科長	担任
			

2025年度 シラバス

科 目 名	基礎医学 3						
担当教員	青木 清						
実務経験	無 / (有) 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科2年	(前期) ・ 後期	(講義) ・ 実習	単位数	2	時間数	30時間
授業目標	これらに含まれる分野はなかなか救急隊員には扱いが難しいものであるが、 現場での活動する上で重要な判断材料となるものである。 その為、救急隊に求められる判断を適切に行えるようにする。						
授業内容	第 1回	薬物総論					
	第 2回	薬物の有害作用					
	第 3回	救急救命処置に用いられる薬剤、使用頻度の高い薬					
	第 4回	輸液・輸液製剤、保存と保守管理					
	第 5回	上記内容の復習					
	第 6回	検体検査					
	第 7回	検体検査					
	第 8回	生理検査					
	第 9回	画像検査					
	第10回	上記内容の復習					
	第11回	在宅療養とは、在宅酸素療法					
	第12回	気管切開、在宅酸素療法					
	第13回	経管栄養チューブ、中心静脈栄養カテーテル					
	第14回	血液透析用内シャント、腹膜透析チューブ、植込み式心臓ペースメーカー					
	第15回	上記内容の復習					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10・11版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
	(菅井)	(青木)	(吉川)

2025年度 シラバス

科 目 名	社会保障						
担当教員	吉川 実						
実務経験	無 / 有(消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科2年	前期 ・ (後期)	(講義) ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	・ 医療に関する各種制度を理解し、救急救命士としての社会的立場を学ぶ。 ・ 社会情勢に応じて年々変化する各種保険や社会保障の知識を深め、最新の数値も含め ポイントを絞り理解する。						
授業内容	第 1回	保健医療制度の仕組みと現状					
	第 2回	保健医療制度の仕組みと現状					
	第 3回	保健医療制度の仕組みと現状					
	第 4回	保健医療制度の仕組みと現状					
	第 5回	上記の内容の復習					
	第 6回	社会保障及び社会福祉の仕組みと現状					
	第 7回	社会保障及び社会福祉の仕組みと現状					
	第 8回	社会保障及び社会福祉の仕組みと現状					
	第 9回	社会保障及び社会福祉の仕組みと現状					
	第10回	上記の内容の復習					
	第11回	保険制度の仕組みと現状					
	第12回	保険制度の仕組みと現状					
	第13回	保険制度の仕組みと現状					
	第14回	保険制度の仕組みと現状					
	第15回	上記の内容の復習					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第11版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
	(菅井)	(青木)	(吉川)

2025年度 シラバス

科 目 名	薬剤投与・気管挿管						
担当教員	吉田 颯良						
実務経験	(無) / 有 ()						
学科学年	救急救命科2年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	1. 気管内チューブを用いた気道確保の目的及び適応を知る。 2. 静脈路確保と輸液の目的及び適応を知る。 3. 薬剤投与の目的及び適応を知る。						
授業内容	第 1回	気管挿管					
	第 2回	気管挿管					
	第 3回	気管挿管					
	第 4回	気管挿管					
	第 5回	気管挿管の復習					
	第 6回	静脈路確保と輸液					
	第 7回	静脈路確保と輸液					
	第 8回	静脈路確保と輸液					
	第 9回	静脈路確保と輸液					
	第10回	静脈路確保と輸液の復習					
	第11回	薬剤投与					
	第12回	薬剤投与					
	第13回	薬剤投与					
	第14回	薬剤投与の復習					
	第15回	総復習講義					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、他						
評価方法	五肢択一の筆記試験を実施						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	青木	吉川

2025年度 シラバス

科 目 名	血糖測定・ブドウ糖投与・輸液						
担当教員	富樫伸治						
実務経験	無 / ☒ 有 （ 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり ）						
学科学年	救急救命科2年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	・低血糖による意識障害の発生機序を理解し、適切な処置・医療機関選定を目標とする。 ・心肺停止前傷病者に対する輸液の適応とその重要性を学ぶ。 ・処置拡大の意義及び目的について理解する。						
授業内容	第 1回	血糖値測定					
	第 2回	血糖値測定					
	第 3回	血糖値測定					
	第 4回	ブドウ糖投与					
	第 5回	ブドウ糖投与					
	第 6回	ブドウ糖投与					
	第 7回	ブドウ糖投与					
	第 8回	ショック状態					
	第 9回	ショック状態					
	第10回	ショック状態					
	第11回	ショック状態					
	第12回	輸液					
	第13回	輸液					
	第14回	輸液					
	第15回	輸液					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第 1 1 版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	青木	吉川

2025年度 シラバス

科目名	疾病救急医学5						
担当教員	吉川 実						
実務経験	無 / 有(消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科 2年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	感染症法、予防接種の目的および各分類について理解する。 加齢による身体・精神機能の変化、高齢者に多い各疾患について理解する。 精神障害の分類・疫学、救急分野で頻度の高い疾患の概要を理解する。						
授業内容	第 1回	感染症（総論）					
	第 2回	感染症（各論）					
	第 3回	感染症（各論）					
	第 4回	感染症（各論）					
	第 5回	高齢者に特有な疾患（総論）					
	第 6回	高齢者に特有な疾患（総論）					
	第 7回	高齢者に特有な疾患（主な疾患）					
	第 8回	高齢者に特有な疾患（主な疾患）					
	第 9回	高齢者に特有な疾患（主な疾患）					
	第10回	精神障害（総論）					
	第11回	精神障害（総論）					
	第12回	精神障害（各論）					
	第13回	精神障害（各論）					
	第14回	精神障害（各論）					
	第15回	精神障害（各論）					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第11版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	青木	吉川

2025年度 シラバス

科目名	疾病救急医学6						
担当教員	江面 洋一						
実務経験	無 / (有) (消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科2年		前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数 30
授業目標	小児に特有な疾患、妊娠と分娩、分娩介助について学習する。						
	国家試験頻出問題ではないが、稀に必須問題で出題される分野であるため、						
	しっかりとした知識定着を目標とする。						
授業内容	第 1回	小児に特有な疾患(総論)					
	第 2回	小児に特有な疾患(観察と判断)					
	第 3回	小児に特有な疾患(神経系疾患)					
	第 4回	小児に特有な疾患(呼吸器系疾患)					
	第 5回	小児に特有な疾患(消化器系疾患)					
	第 6回	小児に特有な疾患(その他の疾患)					
	第 7回	第1回～第6回までの復習					
	第 8回	妊娠・分娩と救急疾患(正常妊娠)					
	第 9回	妊娠・分娩と救急疾患(異常妊娠と妊娠初期の異常)					
	第10回	妊娠・分娩と救急疾患(妊娠中期以降の異常)					
	第11回	妊娠・分娩と救急疾患(正常分娩)					
	第12回	救急救命士が行う処置(産婦人科領域の処置)					
	第13回	妊娠・分娩と救急疾患(異常分娩)					
	第14回	妊娠・分娩と救急疾患(観察と処置)					
	第15回	総復習					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、他						
評価方法	五肢択一の筆記試験を実施						

	教務主任	学科長	担任
			

2025年度 シラバス

科 目 名	環境障害と中毒						
担当教員	富樫伸治						
実務経験	無 / ☒ 有 (消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科2年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	・医療従事者には重要な解剖生理学を学び、基本的な知識を身に付ける。 ・国家試験では、非常に出題頻度が高いため、ポイントを絞り学ぶ。						
授業内容	第 1回	中毒総論					
	第 2回	中毒各論					
	第 3回	中毒各論					
	第 4回	異物					
	第 5回	溺水					
	第 6回	溺水					
	第 7回	熱中症					
	第 8回	熱中症					
	第 9回	偶発性低体温					
	第10回	偶発性低体温					
	第11回	放射線障害					
	第12回	放射線障害					
	第13回	その他の環境障害					
	第14回	その他の環境障害					
	第15回	上記の総復習					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第 1 1 版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	青木	吉川

2025年度 シラバス

科目名	シミュレーション実習 3						
担当教員	青木清・富樫伸治・吉川実・江面洋一・吉田颯良						
実務経験	無 / (有) 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科 2 年	前期 ・ 後期	講義 ・ (実習)	単位数	4	時間数	180時間
授業目標	1、救急現場で、直ぐに活動できる救急救命士を育てる。 2、シミュレーション実習を通して、 国家試験症例問題に対応できる能力を身につける。 3、救急救命士（消防吏員）として、規律 ある行動が取れるようにする。 4、上記の内容を重点的に行い、実践的な現場活動を学ぶ。						
授業内容	第 1回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（月、木曜日3.4時限）（火曜日1.2時限）					
	第 2回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（月、木曜日3.4時限）（火曜日1.2時限）					
	第 3回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（月、木曜日3.4時限）（火曜日1.2時限）					
	第 4回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（月、木曜日3.4時限）（火曜日1.2時限）					
	第 5回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（月、木曜日3.4時限）（火曜日1.2時限）					
	第 6回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（月、木曜日3.4時限）（火曜日1.2時限）					
	第 7回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（月、木曜日3.4時限）（火曜日1.2時限）					
	第 8回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（月、木曜日3.4時限）（火曜日1.2時限）					
	第 9回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（月、木曜日3.4時限）（火曜日1.2時限）					
	第10回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（月、木曜日3.4時限）（火曜日1.2時限）					
	第11回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（月、木曜日3.4時限）（火曜日1.2時限）					
	第12回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（月、木曜日3.4時限）（火曜日1.2時限）					
	第13回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（月、木曜日3.4時限）（火曜日1.2時限）					
	第14回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（月、木曜日3.4時限）（火曜日1.2時限）					
	第15回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（月、木曜日3.4時限）（火曜日1.2時限）					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂10・11版						
	JPTECガイドブック、スキルマスター						
評価方法	実技試験						

教務主任	学科長	担任
		

2025年度 シラバス

科 目 名	シミュレーション実習 4						
担当教員	青木清・富樫伸治・吉川実・江面洋一・吉田颯良						
実務経験	無 / (有) 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科 2 年		前期 ・ (後期)	講義 ・ (実習)	単位数	4	時間数 180時間
授業目標	救急症例実習（内因性・外因性）を通じて、観察・処置・評価法を学び、国家試験対策とするとともに実現場の活動を理解する。						
授業内容	第 1 回	救急症例演習（内因性・外因性）（月曜日 1 ～ 3 時限目）（水曜日 2 ～ 4 時間目）					
	第 2 回	救急症例演習（内因性・外因性）（月曜日 1 ～ 3 時限目）（水曜日 2 ～ 4 時間目）					
	第 3 回	救急症例演習（内因性・外因性）（月曜日 1 ～ 3 時限目）（水曜日 2 ～ 4 時間目）					
	第 4 回	救急症例演習（内因性・外因性）（月曜日 1 ～ 3 時限目）（水曜日 2 ～ 4 時間目）					
	第 5 回	救急症例演習（内因性・外因性）（月曜日 1 ～ 3 時限目）（水曜日 2 ～ 4 時間目）					
	第 6 回	救急症例演習（内因性・外因性）（月曜日 1 ～ 3 時限目）（水曜日 2 ～ 4 時間目）					
	第 7 回	救急症例演習（内因性・外因性）（月曜日 1 ～ 3 時限目）（水曜日 2 ～ 4 時間目）					
	第 8 回	救急症例演習（内因性・外因性）（月曜日 1 ～ 3 時限目）（水曜日 2 ～ 4 時間目）					
	第 9 回	救急症例演習（内因性・外因性）（月曜日 1 ～ 3 時限目）（水曜日 2 ～ 4 時間目）					
	第10回	救急症例演習（内因性・外因性）（月曜日 1 ～ 3 時限目）（水曜日 2 ～ 4 時間目）					
	第11回	救急症例演習（内因性・外因性）（月曜日 1 ～ 3 時限目）（水曜日 2 ～ 4 時間目）					
	第12回	救急症例演習（内因性・外因性）（月曜日 1 ～ 3 時限目）（水曜日 2 ～ 4 時間目）					
	第13回	救急症例演習（内因性・外因性）（月曜日 1 ～ 3 時限目）（水曜日 2 ～ 4 時間目）					
	第14回	救急症例演習（内因性・外因性）（月曜日 1 ～ 3 時限目）（水曜日 2 ～ 4 時間目）					
	第15回	救急症例演習（内因性・外因性）（月曜日 1 ～ 3 時限目）（水曜日 2 ～ 4 時間目）					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂11版						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
	(青木)	(青木)	(吉川)

2025年度 シラバス

科目名	シミュレーション実習 5						
担当教員	青木清・富樫伸治・吉川実・江面洋一・吉田颯良						
実務経験	無 / (有) 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科2年		前期 ・ (後期)	講義 ・ (実習)	単位数	4	時間数 180時間
授業目標	救急症例実習（内因性・外因性）を通じて、観察・処置・評価法を学び、国家試験対策とするとともに実現場の活動を理解する。						
授業内容	第1回	救急症例演習（内因性・外因性）（火、木曜日1～3時限目）					
	第2回	救急症例演習（内因性・外因性）（火、木曜日1～3時限目）					
	第3回	救急症例演習（内因性・外因性）（火、木曜日1～3時限目）					
	第4回	救急症例演習（内因性・外因性）（火、木曜日1～3時限目）					
	第5回	救急症例演習（内因性・外因性）（火、木曜日1～3時限目）					
	第6回	救急症例演習（内因性・外因性）（火、木曜日1～3時限目）					
	第7回	救急症例演習（内因性・外因性）（火、木曜日1～3時限目）					
	第8回	救急症例演習（内因性・外因性）（火、木曜日1～3時限目）					
	第9回	救急症例演習（内因性・外因性）（火、木曜日1～3時限目）					
	第10回	救急症例演習（集団災害・トリアージ）（火、木曜日1～3時限目）					
	第11回	救急症例演習（集団災害・トリアージ）（火、木曜日1～3時限目）					
	第12回	救急症例演習（集団災害・トリアージ）（火、木曜日1～3時限目）					
	第13回	救急症例演習（集団災害・トリアージ）（火、木曜日1～3時限目）					
	第14回	救急症例演習（集団災害・トリアージ）（火、木曜日1～3時限目）					
	第15回	救急症例演習（集団災害・トリアージ）（火、木曜日1～3時限目）					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂11版						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
	菅井	青木	吉川

2025年度 シラバス

科 目 名	シミュレーション実習 6						
担当教員	青木清・富樫伸治・吉川実・江面洋一・吉田颯良						
実務経験	無 / (有) 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科 2 年	前期 ・ (後期)	講義 ・ (実習)	単位数	2	時間数	90時間
授業目標	救急症例実習（内因性・外因性）を通じて、観察・処置・評価法を学び、国家試験対策とするとともに実現場の活動を理解する。						
授業内容	第 1回	救急症例演習（臨地実習・症例実習）（金曜日1～3限目）					
	第 2回	救急症例演習（臨地実習・症例実習）（金曜日1～3限目）					
	第 3回	救急症例演習（臨地実習・症例実習）（金曜日1～3限目）					
	第 4回	救急症例演習（臨地実習・症例実習）（金曜日1～3限目）					
	第 5回	救急症例演習（臨地実習・症例実習）（金曜日1～3限目）					
	第 6回	救急症例演習（臨地実習・症例実習）（金曜日1～3限目）					
	第 7回	救急症例演習（臨地実習・症例実習）（金曜日1～3限目）					
	第 8回	救急症例演習（臨地実習・症例実習）（金曜日1～3限目）					
	第 9回	救急症例演習（臨地実習・症例実習）（金曜日1～3限目）					
	第10回	救急症例演習（臨地実習・症例実習）（金曜日1～3限目）					
	第11回	救急症例演習（臨地実習・症例実習）（金曜日1～3限目）					
	第12回	救急症例演習（臨地実習・症例実習）（金曜日1～3限目）					
	第13回	救急症例演習（臨地実習・症例実習）（金曜日1～3限目）					
	第14回	救急症例演習（臨地実習・症例実習）（金曜日1～3限目）					
	第15回	救急症例演習（臨地実習・症例実習）（金曜日1～3限目）					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂11版						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
			

2025年度 シラバス

科 目 名	卒業基準試験						
担当教員	吉川 実						
実務経験	無 / ☒ 有 （ 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり ）						
学科学年	救急救命科2年	前期 ・ ☒ 後期	☒ 講義 ・ 実習	単位数	1	時間数	15
授業目標	国家試験出題範囲に基づく模擬試験を実施し、救急救命士資格取得に必要な知識の習熟度確認する。						
授業内容	第 1回	通常問題①					
	第 2回	通常問題②					
	第 3回	必修問題①					
	第 4回	必修問題②					
	第 5回	通常問題③					
	第 6回	通常問題④					
	第 7回	必修問題③					
	第 8回	必修問題④					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第 1 1 版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
	☒ 菅	☒ 青木	☒ 吉川